

一般質問

質問した順番で掲載しています。
各議員名の下にあるQRコード※から質問の映像をご覧になれます。



市民クラブ
池田 章子
いけだ あきこ



困難な問題を抱える女性への支援

問 白菊寮において特定妊婦を受け入れられないのか伺いたい。

※特定妊婦・・・予期せぬ妊娠や貧困、DV、若年妊娠など複雑な事情を抱えていて出産前から支援が特に必要な妊婦。

答 白菊寮は、児童福祉法における母子生活支援施設の規定に基づき、保護が必要な母子が入居しており、特定妊婦は対象となっておらず、現時点で個別具体的な受入要請はあっていない状況である。一方で、一時保護を行う県の女性相談支援センターから今後の一時保護委託の実施について相談があったため、白菊寮で受け入れるとした場合の課題を整理しながら、受入れの実施に向けての検討を進めていきたい。




自民創生
澤勢 みずき
さわせ みずき



バイオベンチャーへの取組

問 長崎大学の感染症研究など本市の優れた資源や実績を生かして創業分野であるバイオベンチャーへの取組を官民一体となつて促進してほしいと考えるが、どのような取組を行っているのか。

答 本市では生命科学を成長分野の一つに位置付け、新たな産業の創出を目指すこととしている。これまで国、県及び長崎大学など3大学と連携し、大学の研究成果や地域企業の技術力を活用した新事業の創出・育成を図るなど、生命科学を含む各分野で産学連携の取組が進んでいる。また、昨年度は大学や生命科学分野の誘致企業、地場のバイオベンチャーと製造業の企業の交流を図ったところである。今後こうした分野における、交流促進に取り組み、ビジネス創出につなげていきたい。




公明党
山本 信幸
やまもと のぶゆき



災害時のコミュニティタイムラインの作成

問 地域の防災上の特性を踏まえ、避難行動のタイミングなどのルール化を図るコミュニティタイムラインが必要と考えるが、今後の取組を伺いたい。

答 近年の災害状況に鑑みると、地域を核とした防災対策の推進が改めて重要視されていることから、従来から取り組んでいる地域住民が危険箇所等を話し合いながら作り上げる地域防災マップの作成に併せて、コミュニティタイムラインの作成を支援していきたいと考えている。

今後は、地域防災マップの見直し等に併せてコミュニティタイムラインの作成を行うことを地域に提案し、両者が一体となったものを地域の全世帯に配布し、活用していただくことで、いざという時の迅速・適切な行動につなげていきたい。




ながさきミライ
高橋 佳子
たかはし けいこ



ファミリー・サポート・センターながさきの運営体制

問 子育ての援助を受けたい人と援助したい人が会員となり、地域において支え合うファミリー・サポート・センターながさきに関して、運営体制の現状や望ましい在り方、業務のオンライン化について、市の見解を伺いたい。

答 運営の委託先が2つあることで、市民にとって分かりにくいとの声があることや会員情報を管理するシステムが連携できないことによる事務の煩雑化などの課題が生じている。現在、委託先の一本化も含め、運営体制の課題解消に向け、両運営団体と協議を重ねており、利用者や運営団体等の意見を聞きながら制度や仕組みを見直していく。また、業務のオンライン化については、会員や運営団体の負担軽減につながるため、対応可能な部分から速やかに取り組んでいきたい。

